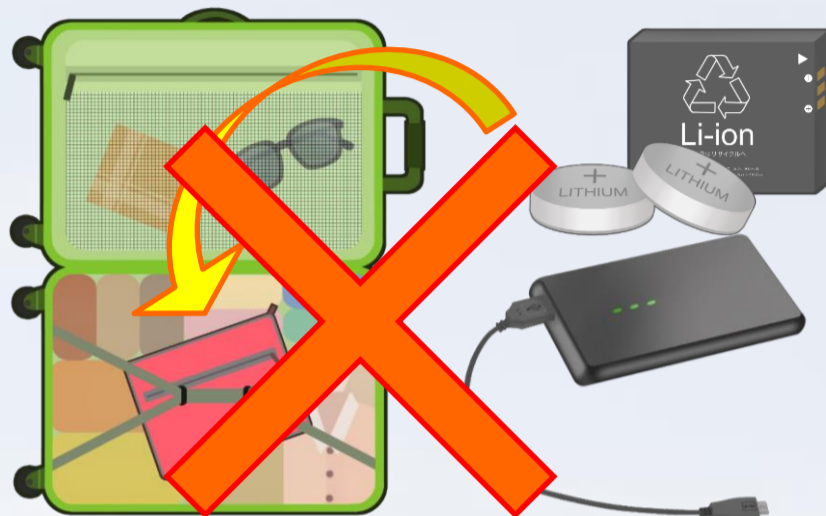


航空機ご利用時にリチウムイオン電池を内蔵したモバイルバッテリーや予備のバッテリーパック等を携行する際、旅客に「**リチウムイオン電池が危険物に該当する**」という認識がないまま誤輸送される事案が発生しています。旅行等でリチウムイオン電池を内蔵したモバイルバッテリー等の携行を予定している方は、どのような条件により輸送可能かご確認ください。

① 預け入れのお手荷物に含めることはできません！
リチウムイオン電池は、衝撃や損傷等が原因で熱暴走が発生し、火災に至る恐れがあります。万が一貨物室においてこのような事象が発生した場合、客室乗務員による早期発見や適切な初期対応が出来ず、機内火災に繋がる恐れがあります。このため、モバイルバッテリー等を**預け入れのお手荷物に含めることは禁止**されています。
必ず客室に持ち込みするお手荷物に含めてください。

また、予備のバッテリーパックについては**短絡防止措置**(端子の保護など)をとる必要があります。

- ・バッテリーケースに収納
- ・端子に絶縁テープを貼る
- ・複数のバッテリーや金属品と同じ袋に収納しない ……など



端子部分に短絡が生じたため、客室において発煙した事例



予備のバッテリーパックが充電用ケースに収納されており、常時通電の状態となっていた。端子部分にて短絡が発生し発煙したものと推定される。

② ワット時定格量(Wh)を確認しましょう！

客室に持ち込み可能なモバイルバッテリー等は**ワット時定格量が160Wh以下**の小型な製品に限定されます。

製品の表示やメーカーのホームページ等により、必ずワット時定格量を確認しましょう。

ワット時定格量が**100~160Whである場合、2個までの個数制限**もあるため、ご注意ください。

定格容量(mAh)や公称電圧の表示がある場合は、以下の計算式によりワット時定格量(Wh)を算出できます。

$$\text{【ワット時定格量(Wh) = 定格容量(mAh) × 公称電圧(V) ÷ 1000】}$$

※製品によってはワット時定格量や公称電圧の表示がない場合があります。その際は、メーカーへ直接お問い合わせください。



●●●●株式会社
定格容量: 27,000mAh
公称電圧: 3.7V
(99.9Wh)



リチウムイオン電池は、小型で大容量の電力を供給することができるため、非常に利便性の高いものである一方、熱暴走により発火に至る恐れのある**危険物**でもあります。

安全な空の旅のため、十分に確認をお願いします。

